

杉 森 中 学 校

読書に親しみ、豊かな心を育てる図書館

今の学校図書館

本校の目標は、心身ともに健康で、人間性豊かな生徒の育成を目指し、自学・実践・友愛を教育目標として掲げている。図書館においても、「図書館を利用して自主的に学ぶ姿勢を育てる」「読書に親しみ、豊かな心情を育てる」ことに重点を置いている。

今年度の図書館は、今まで以上に授業で活用しやすい図書館にするため、書架の配置はそのままに日本十進分類法で配架されている本の並びを変更した。書架に余裕ができ、蔵書を増やしているようになった。

学校図書館の運営

学校図書館全体計画、学校図書館運営計画に沿って図書館を運営する。

読書センターだけでなく、学習センターや情報センターになるような本の選書をおこない、蔵書を構築していく。

図書館の環境を整え、一人一人に合う図書を紹介し、読書に親しむ姿勢を育む。

1年間の主な活動

- ・図書館オリエンテーション（1学年入学時）
- ・授業支援 ・資料提供 ・ブックトークなど
- ・図書委員会の活動

図書館前の展示コーナーの装飾と本の展示
クラス対抗で本の貸出冊数比べ
本の福袋（3学年）

特色ある取組

「一年間を通しての朝読書」

中央図書館より団体図書を借りて、各学年で朝読書の時間に読むようにしている。

「ニュースの本棚」

新聞記事の内容と
同じような本を
一緒に展示をして、
社会を知る
コーナー。



「SDG s 関連の本のコーナー」

SDG s 関連の本をまとめて、興味関心を喚起するコーナー。



これからの学校図書館

- ・授業等で利用できるように蔵書の選択。
- ・図書委員会の活動をさらに活発にしたい。
- ・今年度に引き続き、誰にでもわかりやすい図書館にしていく。